

平成31年（2019年）3月期  
第2四半期決算報告  
（連結ベース）

2018年11月16日

東芝機械株式会社

## 東芝機械

(成形機、工作機械、その他)

## 国内製造販売会社 2社

(工作機械、その他) **不二精機製造所**  
(その他) **東栄電機**

## 国内販売・サービス会社 他 3社

(成形機、その他) **東芝機械エンジニアリング**  
(その他) **芝浦セムテック**  
(その他) **芝浦産業**

## 赤い枠内は連結各社

(持分法適用会社) 1社  
**ニューフレアテクノロジー : 15.1%**

(非連結子会社)  
海外販売会社 7社  
その他出資先 1社

## 海外製造会社 3社

(成形機)  
**TOSHIBA MACHINE (SHANGHAI) CO., LTD.**  
**TOSHIBA MACHINE MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD.**  
**TOSHIBA MACHINE (CHENNAI) PRIVATE LIMITED**

## 海外販売・サービス会社 6社

(成形機、工作機械、その他)  
**SHANGHAI TOSHIBA MACHINE CO., LTD.**  
**TOSHIBA MACHINE COMPANY, AMERICA**  
(成形機、工作機械)  
**TOSHIBA MACHINE (THAILAND) CO., LTD.**  
**TOSHIBA MACHINE SOUTH EAST ASIA PTE.LTD.**  
(成形機)  
**TOSHIBA MACHINE (SHENZHEN) CO., LTD.**  
**TOSHIBA MACHINE HONG KONG LTD.**

平成31年（2019年）3月期  
第2四半期決算概要  
（連結ベース）

# 業績サマリー

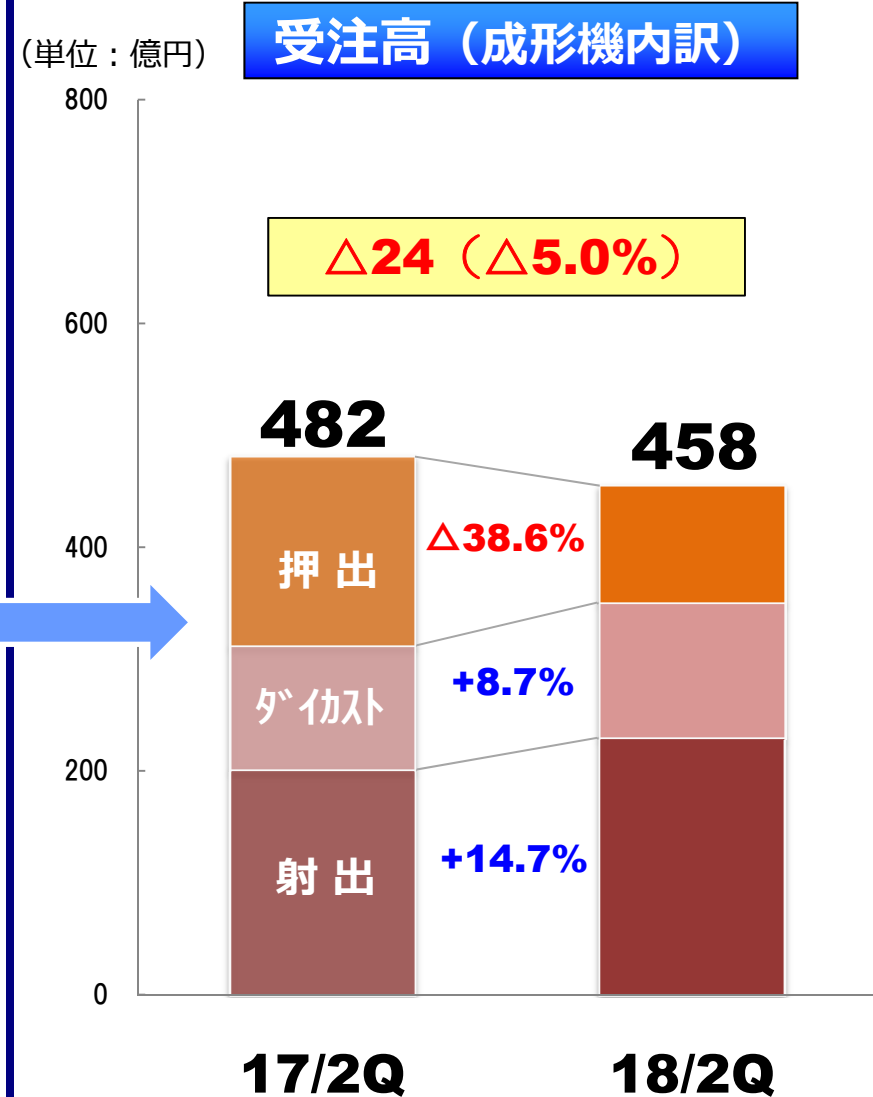
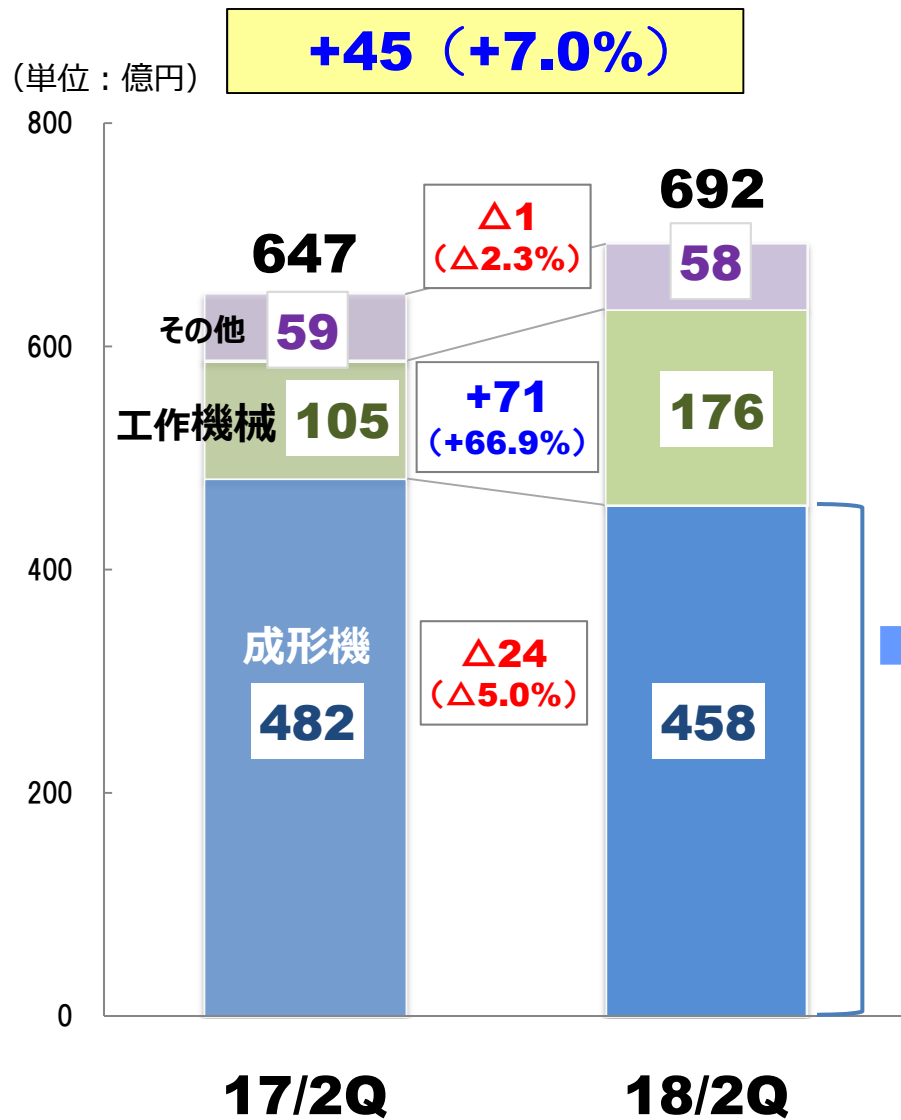
4

(単位：億円)

	2018年度2Q (H30年度2Q)	2017年度2Q (H29年度2Q)	増 減	18/2Q 公表予想 (2018/5/9公表値)
売 上 高	595	561	+34	660
営 業 利 益	16 2.7%	18 3.1%	△ 2 △ 0.4%	28 4.2%
経 常 利 益	27 4.5%	38 6.9%	△ 11 △ 2.4%	31 4.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	19 3.3%	28 5.0%	△ 9 △ 1.7%	24 3.6%
受 注 高	692	647	+45	738
為替レート (USD)	114 円	113 円		108 円
ROE (純利益/自己資本)	4.7%	7.1%		
ROA (純利益/総資産)	2.6%	※ 3.9%	※ 税効果会計基準の改正により遡及修正	

# 受注高 (セグメント)

5

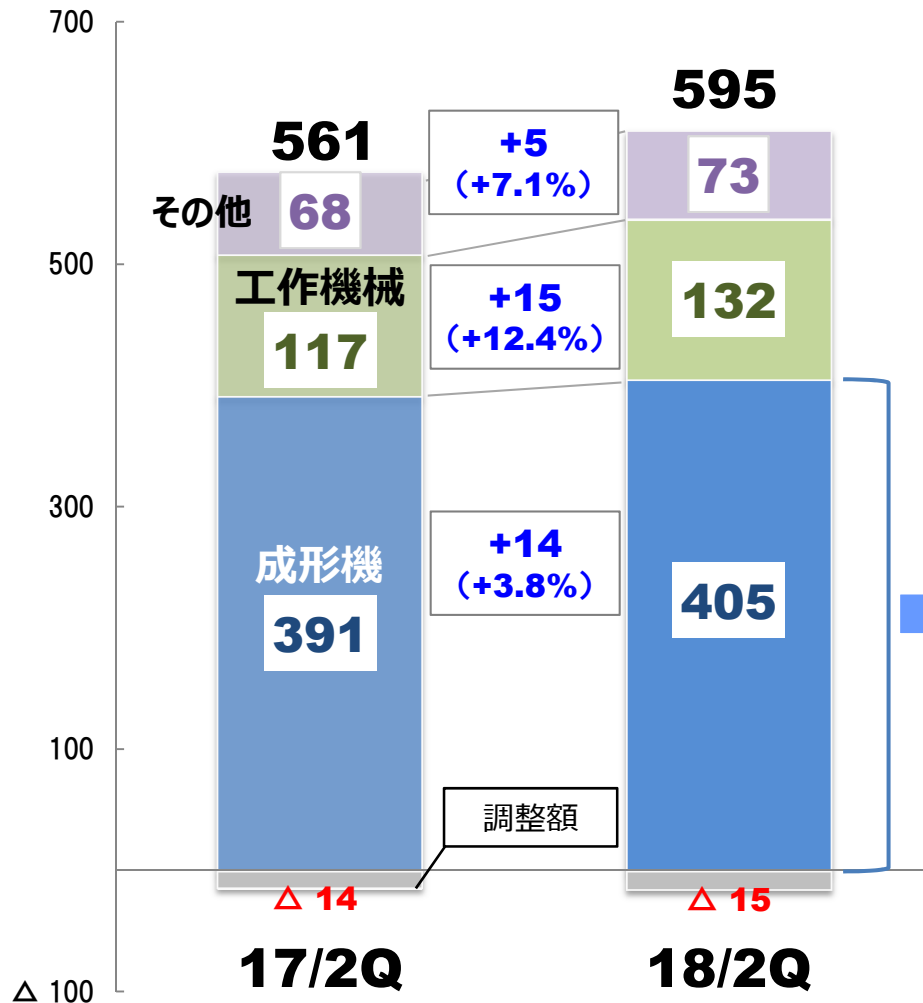


# 売上高 (セグメント)

6

(単位：億円)  
※連結消去後

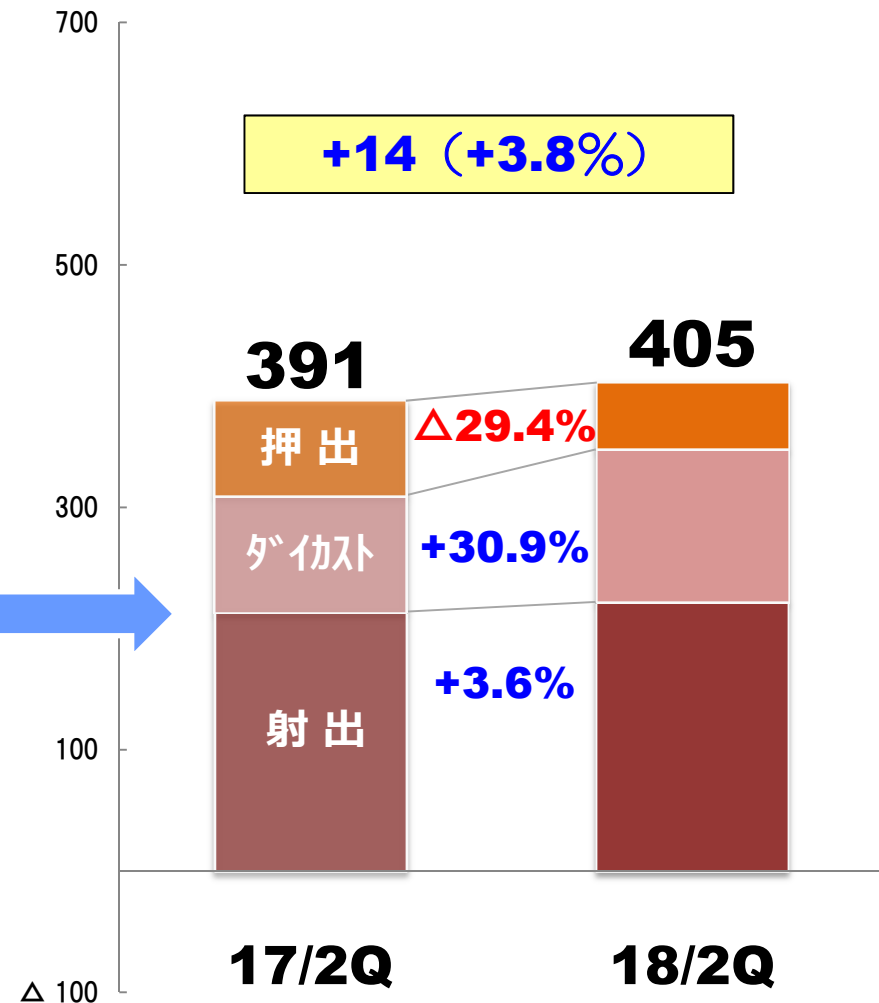
**+34 (+6.0%)**



(単位：億円)  
※連結消去後

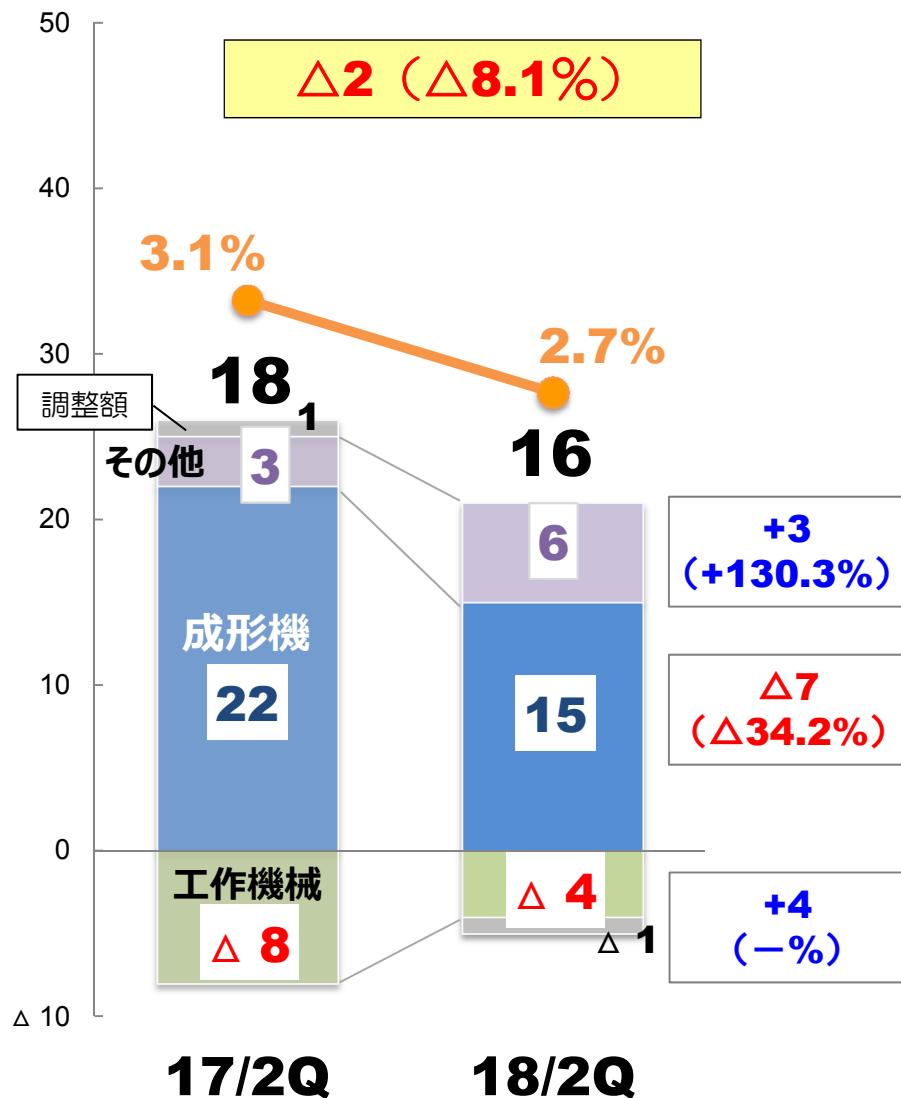
## 売上高 (成形機内訳)

**+14 (+3.8%)**



# 営業利益 (セグメント)

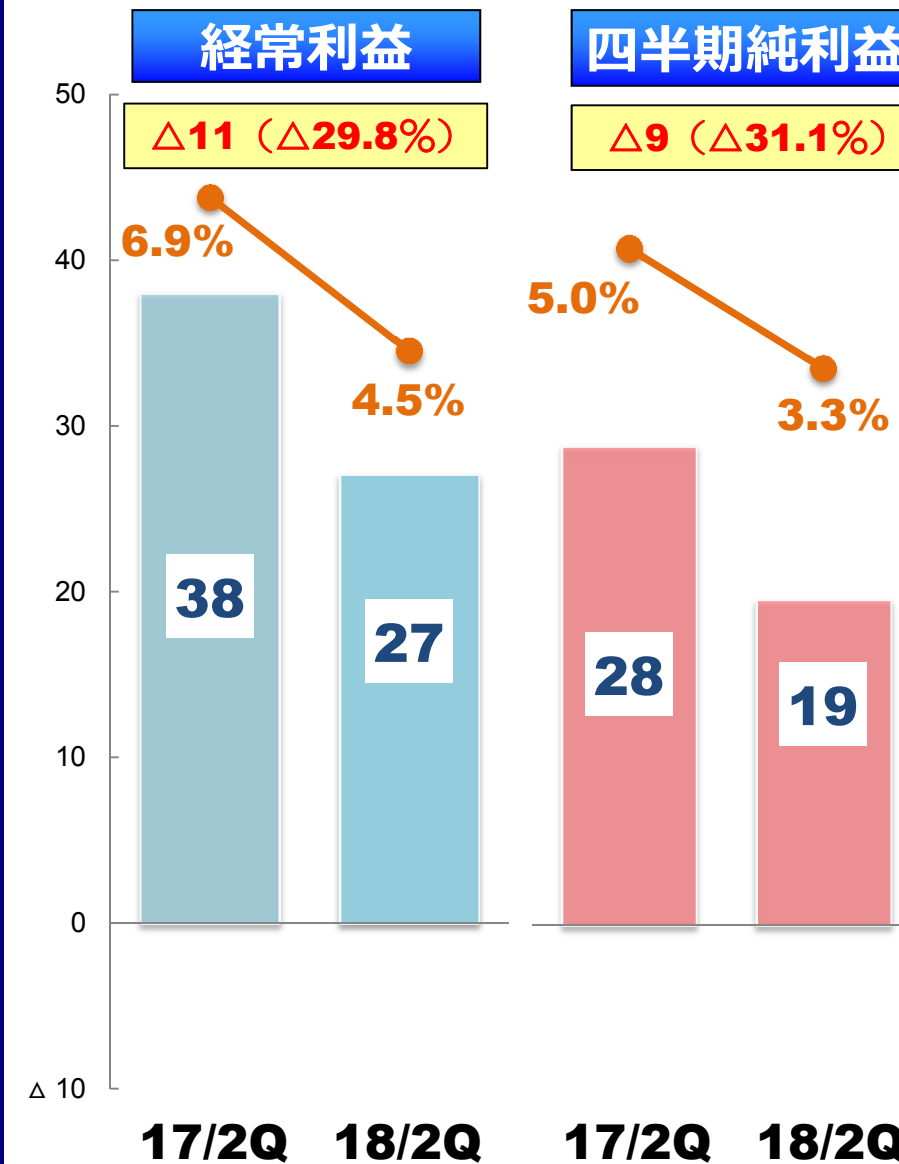
(単位：億円)  
※連結消去後



# 経常利益・四半期純利益

7

(単位：億円)



# (成形機) セグメント業績

8

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2018/2Q (H30/2Q)	2017/2Q (H29/2Q)	増減額	増減率
売上高	405	391	+14	+3.8%
営業利益	15	22	△7	△34.2%
利益率	3.6%	5.7%	△2.1%	

## 2018年度2Q 業績要因分析



### ポジティブ・ファクター

- 【射出】インドの自動車・家電業界向け好調
- 【DC】国内大手ダイカスター向け、中国・東南アジア向け堅調
- 【押出】光学フィルム向け需要拡大



### ネガティブ・ファクター

- 【射出】北米向け生産のタイ工場シフトに伴うコスト上昇
- 【射出】部材価格高騰および基幹部品長納期化に伴う生産効率悪化
- 【押出】中国LiBフィルム向け大型案件の納期調整が継続
- 貿易摩擦による輸出への悪影響



(単位：億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2018/2Q (H30/2Q)	2017/2Q (H29/2Q)	増減額	増減率
売上高	132	117	+15	+12.4%
営業利益	△ 4	△ 8	+4	—
利益率	△ 2.8%	△ 6.5%	+3.7%	

## 2018年度2Q 業績要因分析

+

### ポジティブ・ファクター

- 【大型】産業機械・半導体向け中心に好況
- 【大型】北米航空機・エネルギー関連向け需要復調
- 【精密】国内・中国中心に光学部品向け堅調

-

### ネガティブ・ファクター

- 部材価格高騰および基幹部品長納期化に伴う生産効率悪化
- 貿易摩擦による輸出への悪影響

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2018/2Q (H30/2Q)	2017/2Q (H29/2Q)	増減額	増減率
売上高	73	68	+5	+7.1%
営業利益	6	3	+3	+130.3%
利益率	8.0%	3.7%	+4.3%	

## 2018年度2Q 業績要因分析



### ポジティブ・ファクター

- 産業用ロボットの中国生産能力増強による供給体制強化
- 国内向けサーボモーターの販売好調



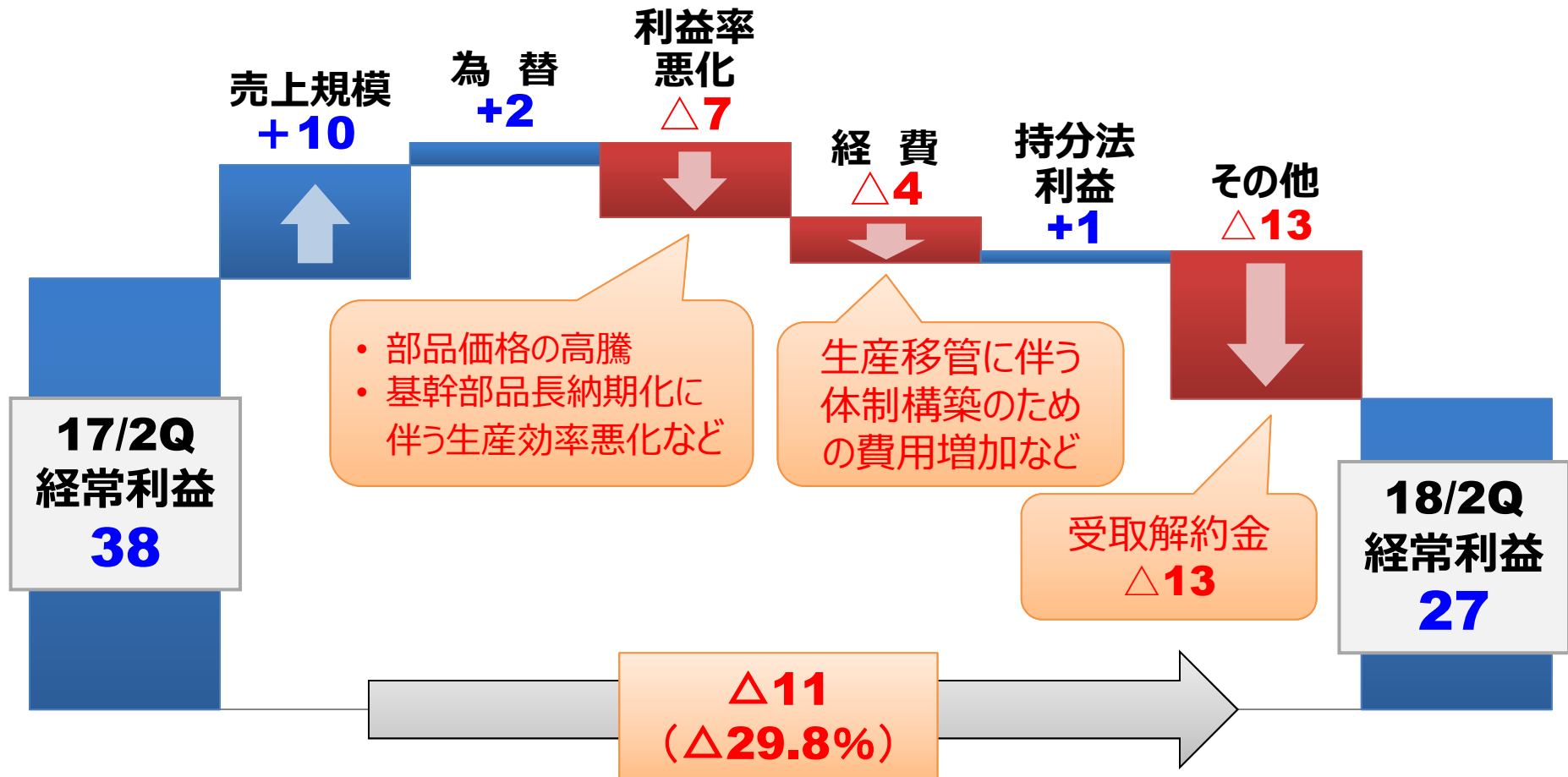
### ネガティブ・ファクター

- 東アジアのスマートフォン・EMS向けロボット需要に停滞感
- 貿易摩擦による輸出への悪影響

# 経常利益分析

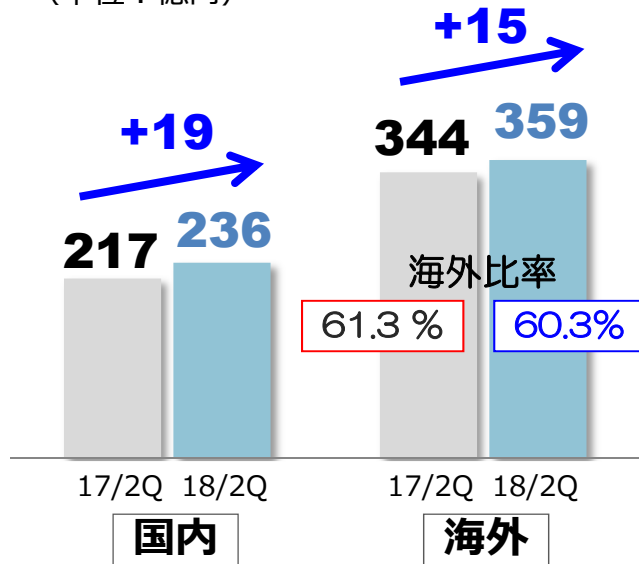
11

(単位：億円)



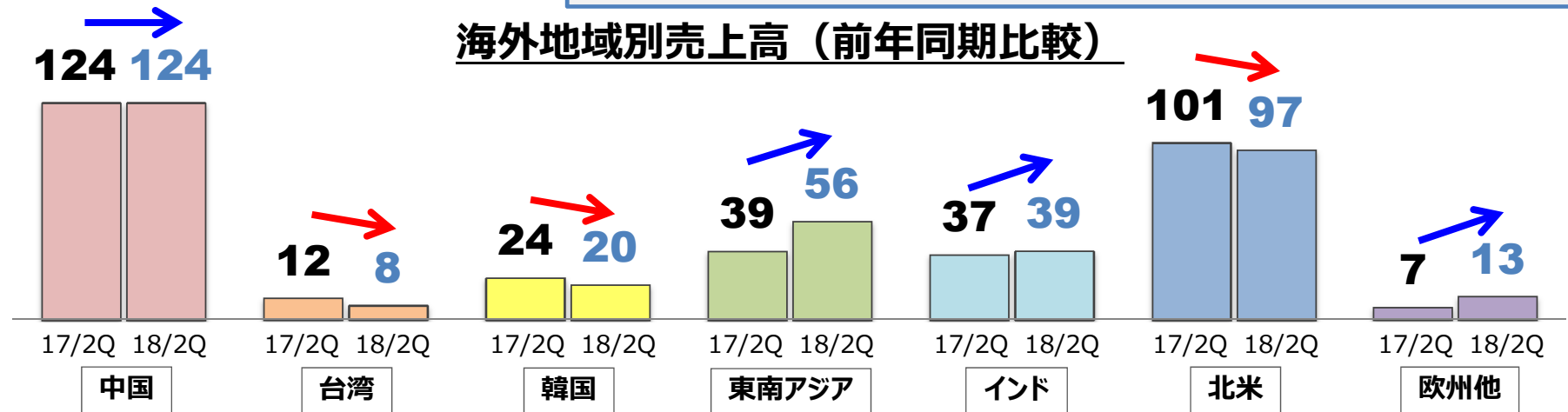
# 国内・海外売上高（前年同期比較）

(単位：億円)



- 国内：
  - ▶ 【射出】【DC】【工作】増加
  - ▶ 【押出】減少
- 中国：
  - ▶ 【DC】【工作】増加
  - ▶ 【射出】【押出】減少
- 東南ア：
  - ▶ 【射出】【DC】【工作】増加
- インド：
  - ▶ 【射出】増加
- 北米：
  - ▶ 【DC】増加
  - ▶ 【射出】【工作】減少

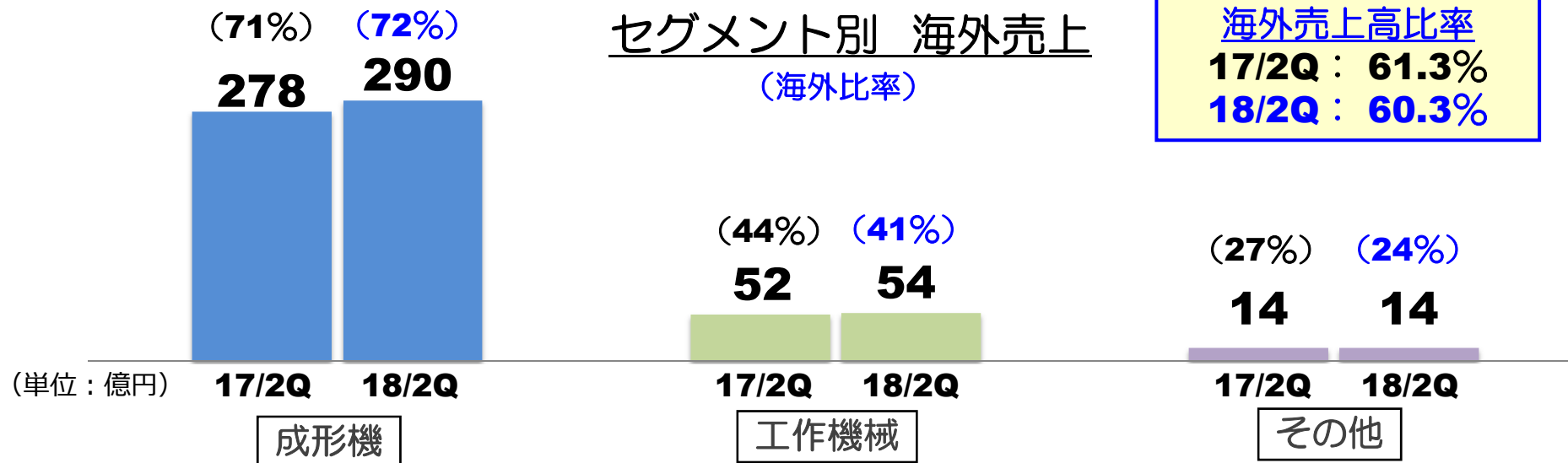
## 海外地域別売上高（前年同期比較）



# 海外向けの売上高・比率（セグメント別）

## セグメント別 海外売上 (海外比率)

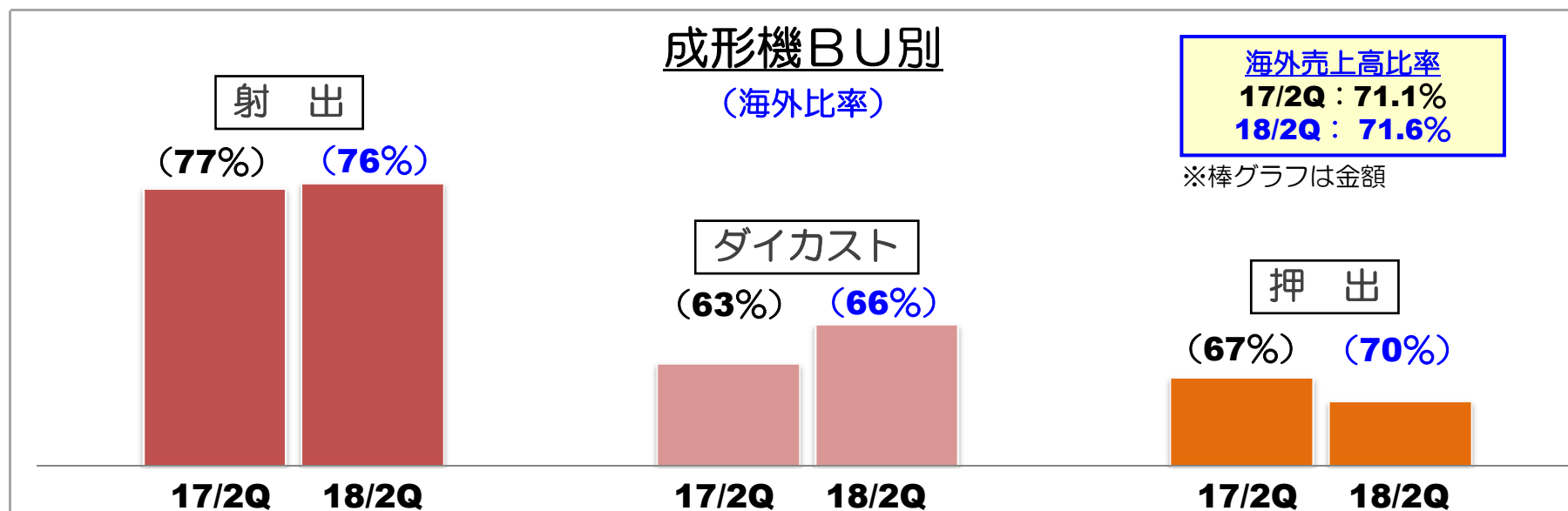
海外売上高比率  
**17/2Q : 61.3%**  
**18/2Q : 60.3%**



## 成形機BU別 (海外比率)

海外売上高比率  
**17/2Q : 71.1%**  
**18/2Q : 71.6%**

※棒グラフは金額



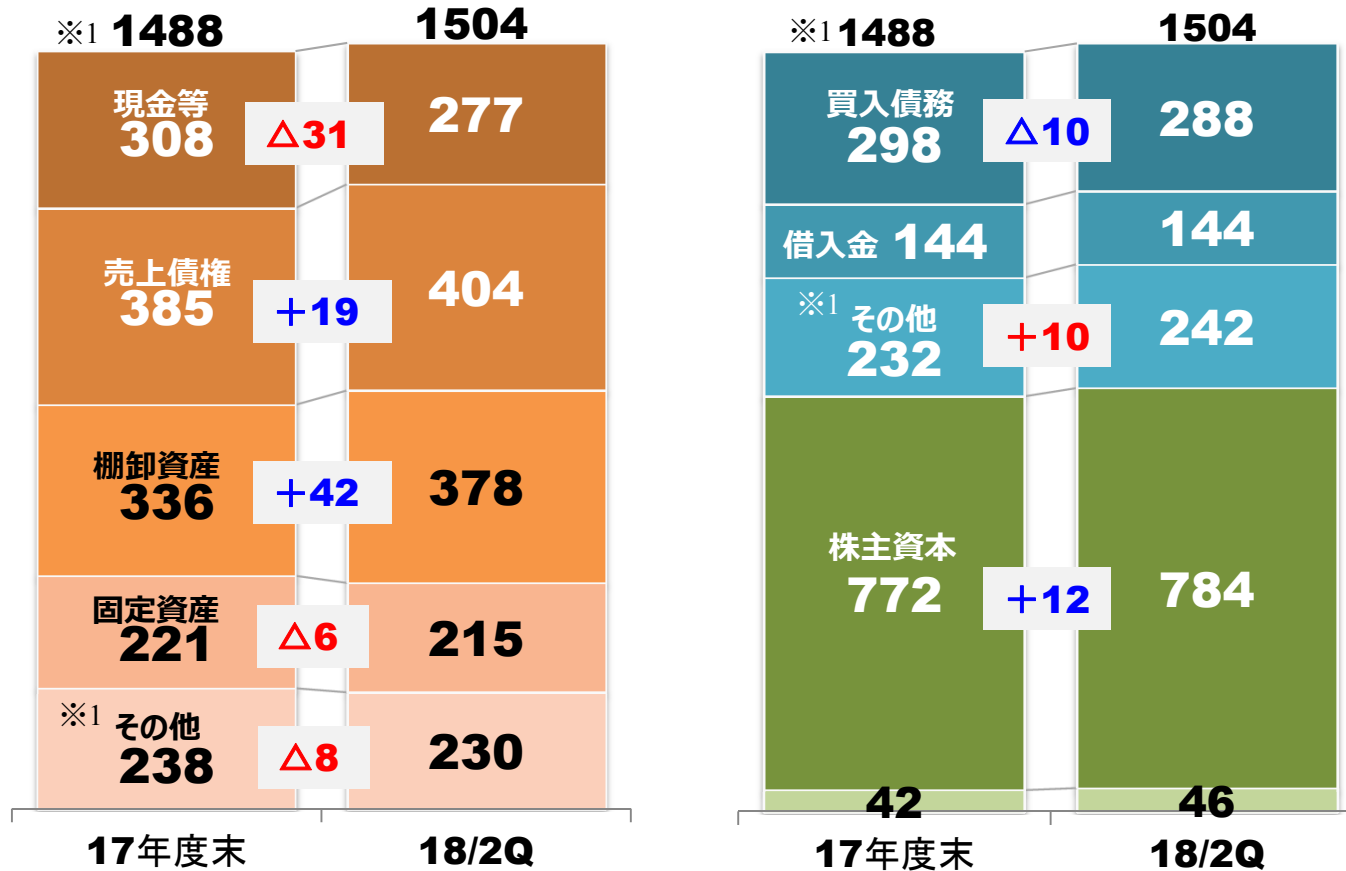
# 貸借対照表

(単位：億円)

## 資産

## 負債

## 純資産



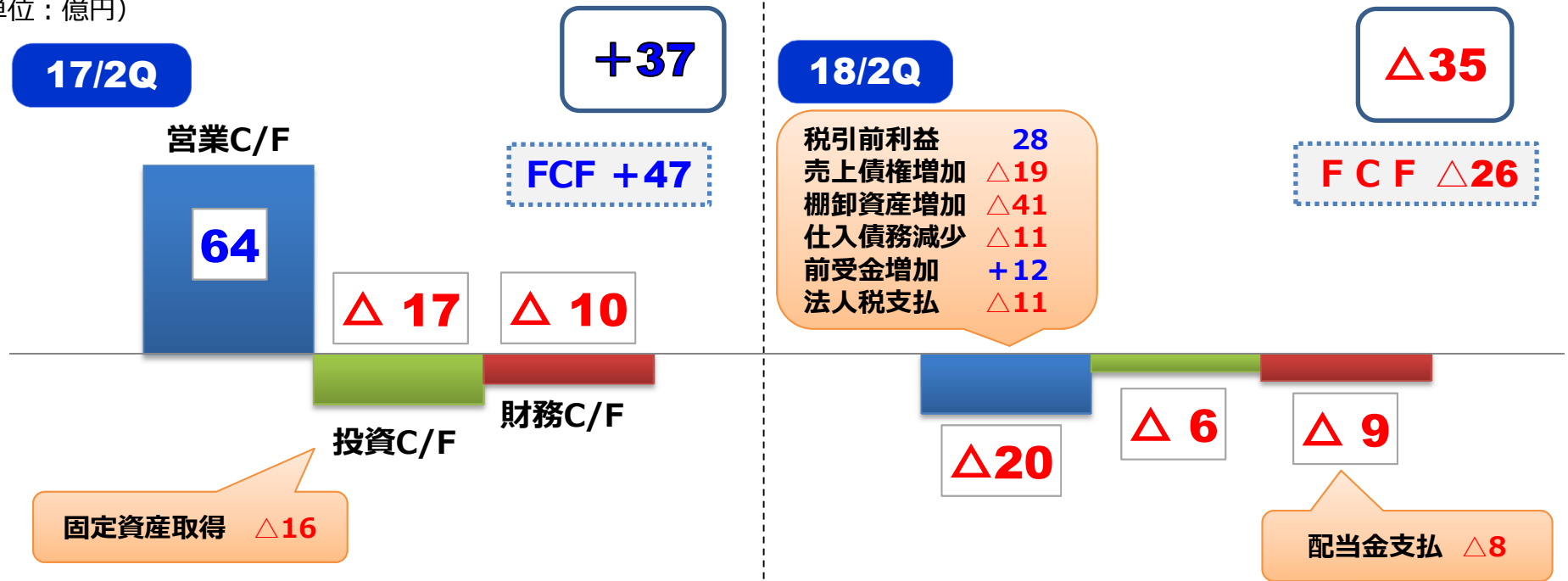
	18/3月末	18/9月末
自己資本比率	※1 <b>54.7%</b>	<b>55.2%</b>
D/E比率	※1 <b>17.7%</b>	<b>17.3%</b>
総資本回転率 ※2	<b>0.81</b> 回転	<b>0.79</b> 回転

※1 税効果会計基準の改正により遡及修正  
 ※2 期首・期末の平均を使用

# キャッシュ・フロー計算書

15

(単位：億円)



	17/2Q	18/2Q
現金及び同等物 期首残高	301	308
営業活動によるC/F	64	△20
投資活動によるC/F	△17	△6
財務活動によるC/F	△10	△9
計	37	△35
換算差額 他	3	4
現金及び同等物 期末残高	341	277

中国押出成形機LiB向け大型ラインの納期調整等による棚卸資産増加の影響 **△41**

平成31年（2019年）3月期

業績予想（連結ベース）

配当予想



## 1. 取り巻く外部環境

項目	ポジティブ・ファクター	ネガティブ・ファクター
<b>成形機セグメント</b> 射出成形機 ダイカストマシン 押出成形機	自動車向け中心にインドの需要堅調 国内・アジア地域の需要堅調 光学フィルム向けラインの需要拡大	北米・東南アジア向け受注が様子見状態 大型機受注残の減少 中国EV需要の調整が下期まで継続の懸念
<b>工作機械セグメント</b>	国内好況が大型機へ波及 北米航空機・エネルギー向け復調 自動車・スマートフォン等光学需要伸長	国内重電・造船向け需要の回復遅れ 基幹部品調達の長納期化継続の懸念
<b>全般</b>	インド拠点統合により販売チャネル拡大 EV化潮流の需要が各セグメントへ波及	部材価格の高騰 基幹部品調達の長納期化継続の懸念 通商問題長期化による中国市況の不透明化

## 2. 概要

### (1) 施策

- 事業収益性向上 : 原価低減諸施策の継続、環境の変化に柔軟に対応
- 経営体質強化 : 国内外工場の効率化、海外現地法人含む拠点の強化
- ブランド力強化 : 市場ニーズにあった新商品の創出、独自ブランドの醸成

### (2) 業績見込 (前期比)

部材価格の高騰、前期営業外収益 (受取解約金) の反動により **増収減益**

# 2018年度 業績サマリー

18

(単位：億円)

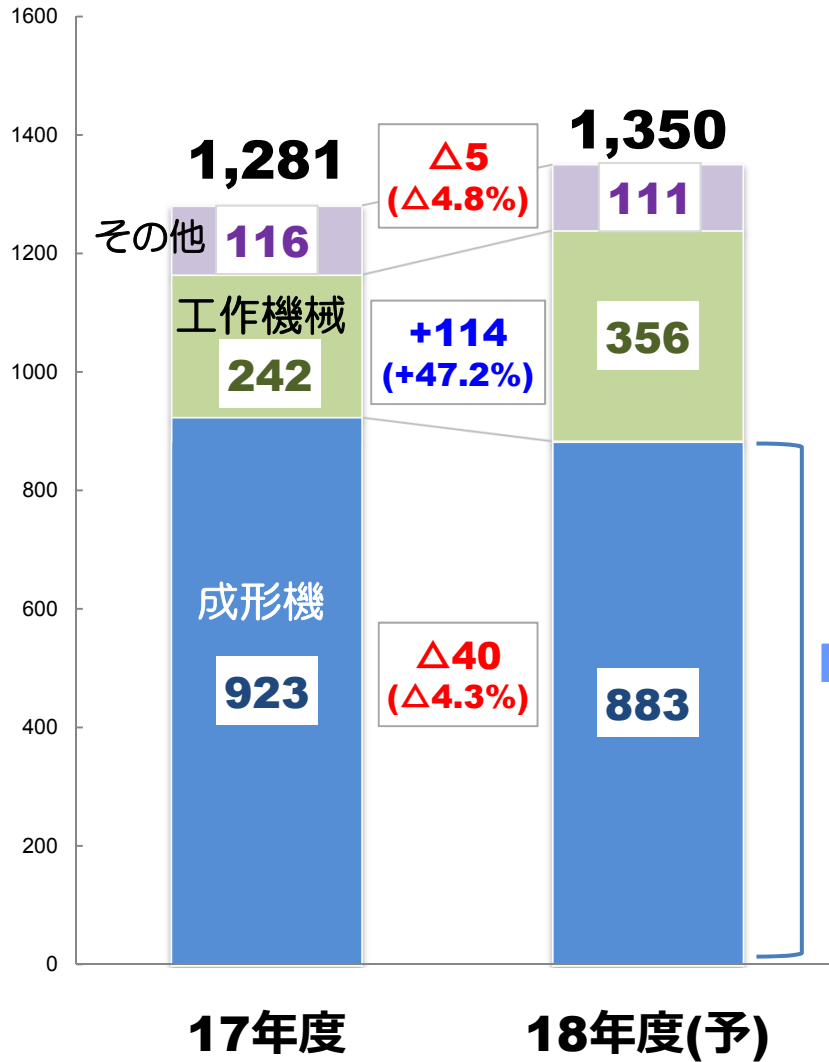
	2018年度 予想	2017年度 実績	増 減	2018年度予想 (2018/5/9公表値)
売 上 高	1,220	1,169	+51	1,350
営 業 利 益	40 3.3%	46 4.0%	△ 6 △ 0.7%	69 5.1%
経 常 利 益	54 4.4%	70 6.0%	△ 16 △ 1.6%	77 5.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	40 3.3%	50 4.3%	△ 10 △ 1.0%	57 4.2%
受 注 高	1,350	1,281	+69	1,500
為替レート (USD)	108 円	106 円		108 円

# 受注高 (セグメント)

19

(単位：億円)

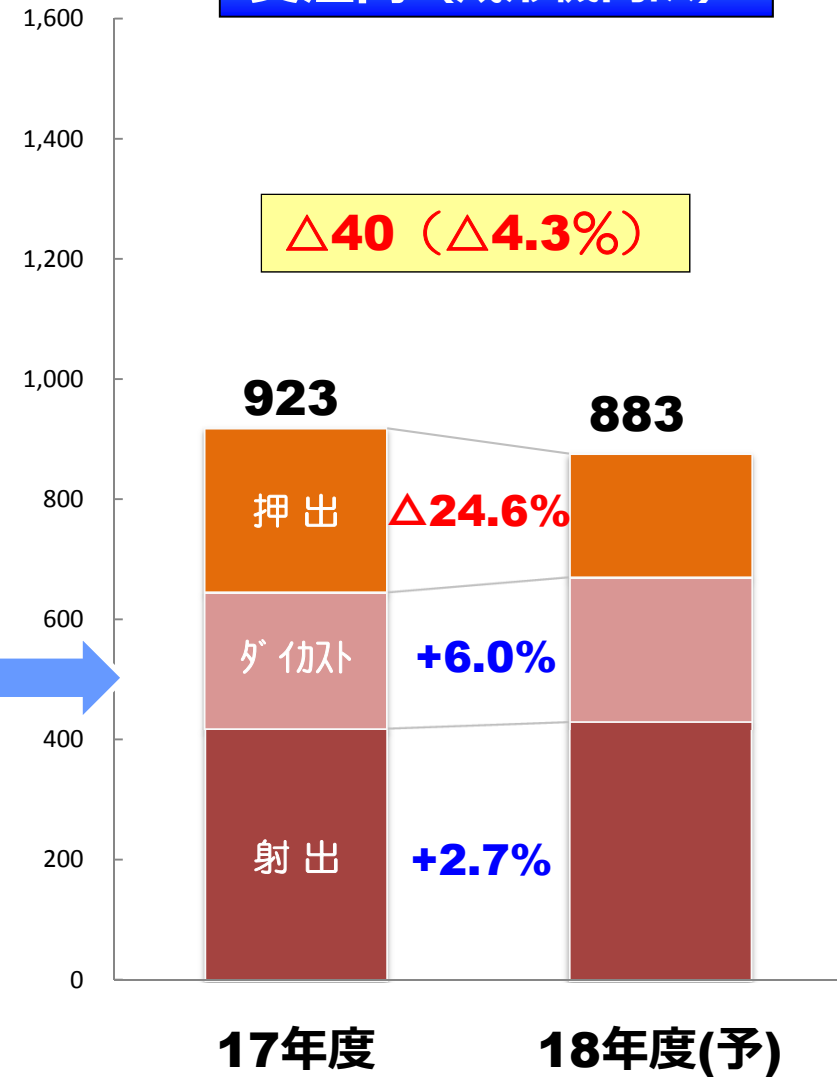
**+69 (+5.4%)**



(単位：億円)

## 受注高 (成形機内訳)

**$\Delta 40$  ( $\Delta 4.3\%$ )**

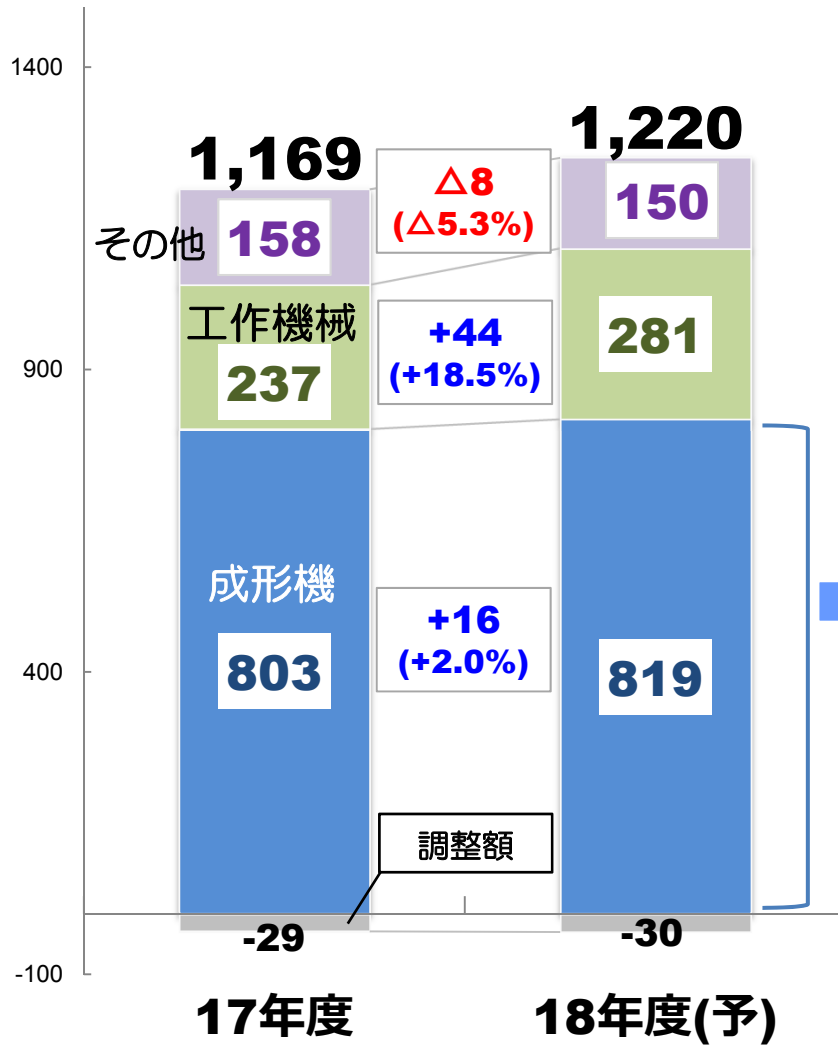


# 売上高 (セグメント)

20

(単位：億円)  
※連結消去後

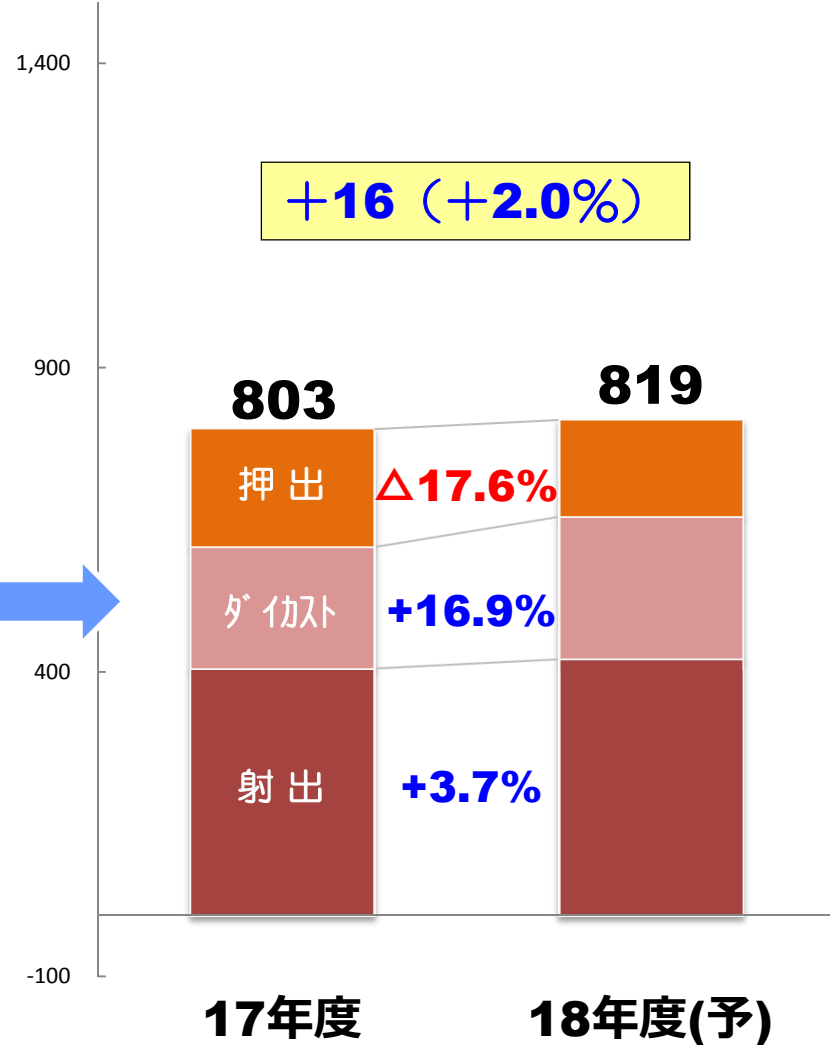
**+51 (+4.4%)**



(単位：億円)  
※連結消去後

## 売上高 (成形機内訳)

**+16 (+2.0%)**



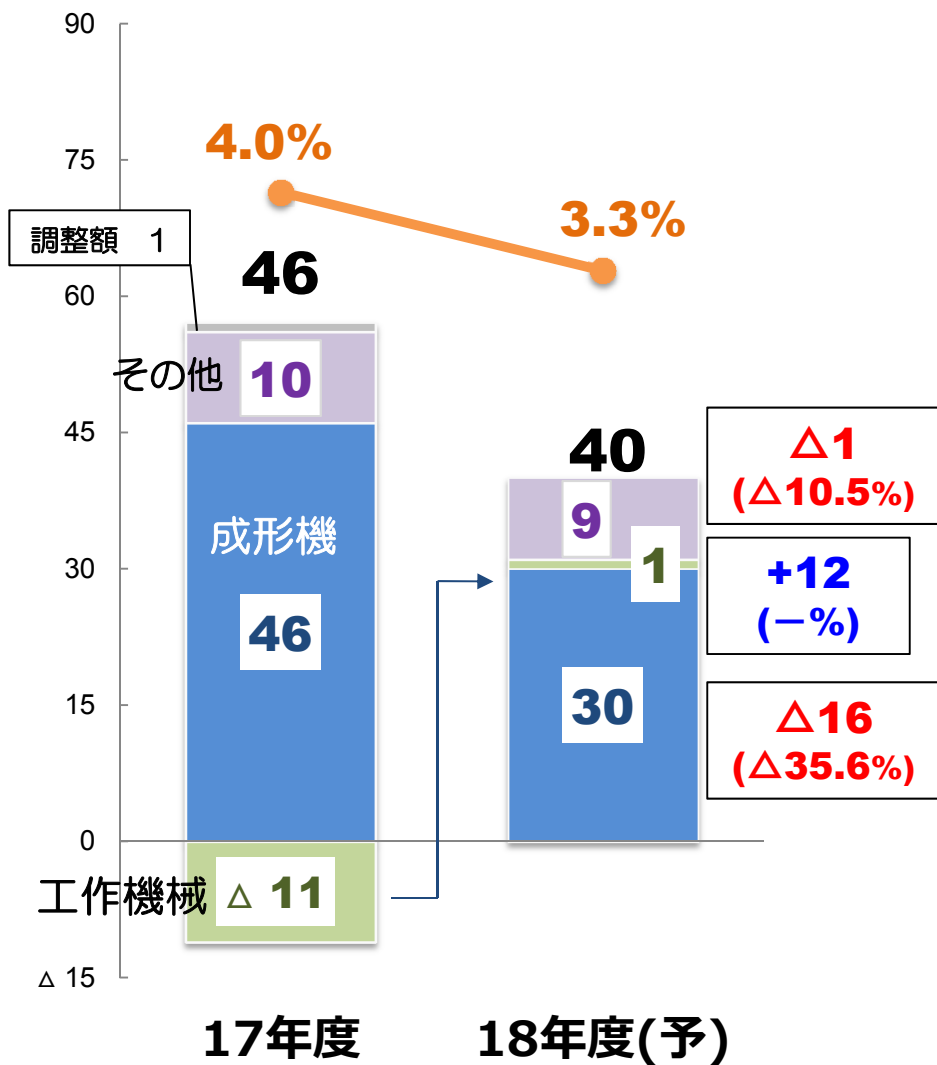
# 営業利益 (セグメント)

# 経常利益・当期純利益

21

(単位：億円)  
※連結消去後

**△6 (△13.8%)**

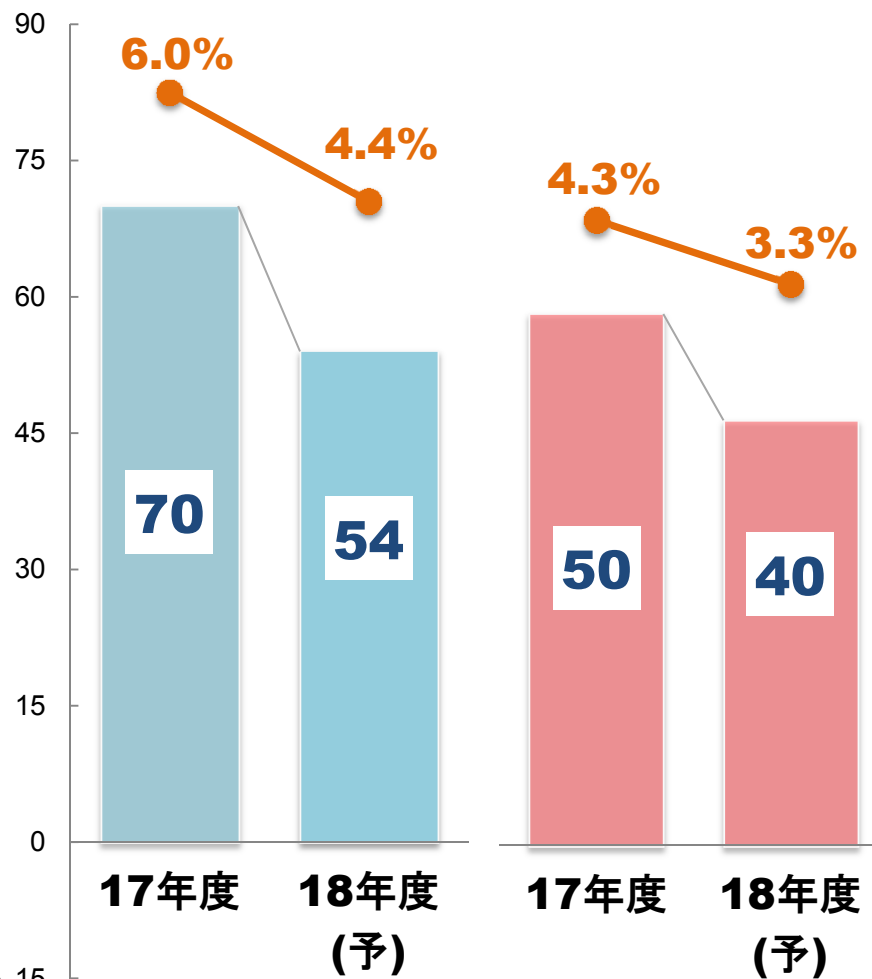


## 経常利益

## 当期純利益

**△16 (△22.7%)**

**△10 (△20.3%)**



# (成形機) セグメント業績予想

22

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2018年度 (H30年度)	2017年度 (H29年度)	増減額	増減率
売上高	819	803	+16	+2.0%
営業利益	30	46	△16	△35.6%
利益率	3.7%	5.8%	△2.1%	

## 2018年度 業績要因分析

+

### ポジティブ・ファクター

- 【射出】インド販売好調・インド工場の生産能力拡大
- 【D C】国内大手向け需要堅調
- 【押出】光学フィルム向けラインの需要拡大

-

### ネガティブ・ファクター

- 【射出】北米向け生産のタイ工場シフトに伴うコスト上昇
- 【射出】部材価格上昇継続
- 【D C】大型機の受注残減少
- 【押出】中国LiBフィルム向け大型案件の納期調整が継続

(単位：億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2018年度 (H30年度)	2017年度 (H29年度)	増減額	増減率
売上高	281	237	+44	+18.5%
営業利益	1	△ 11	+12	—
利益率	0.4%	△ 4.8%	+5.2%	

## 2018年度 業績要因分析



### ポジティブ・ファクター

- 【大型】好調な国内産業機械向け需要が大型機へ波及
- 【大型】北米航空機・エネルギー向け復調
- 【精密】自動車用光学金型向け需要の伸長
- 【精密】光学関連の堅調維持



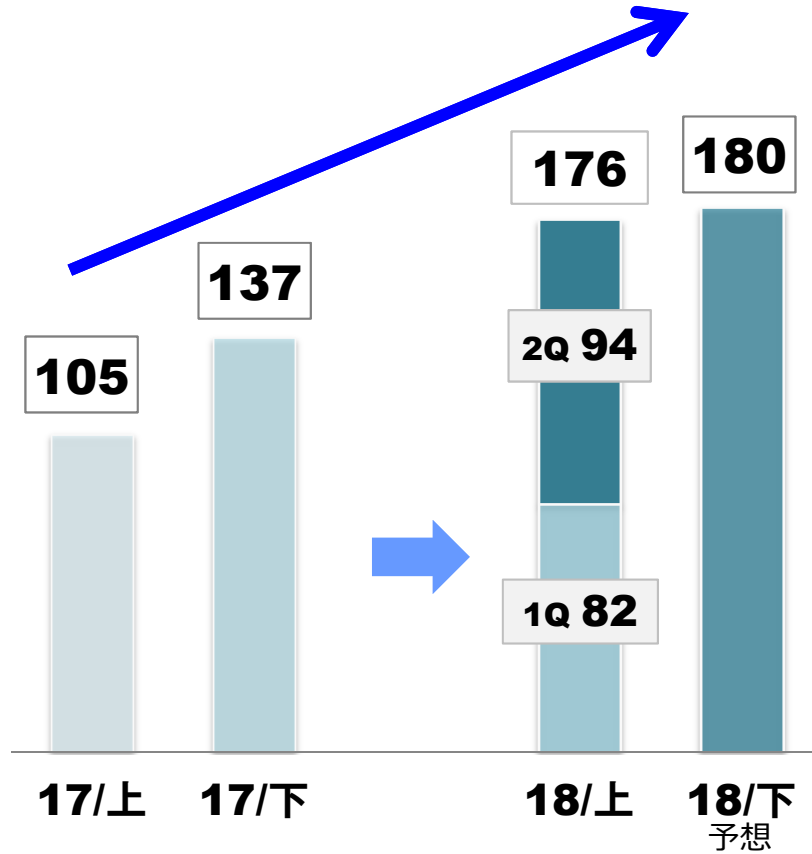
### ネガティブ・ファクター

- 基幹部品調達の長納期化継続懸念
- 部材価格の上昇継続
- 中国市況の不透明化

# (工作機械) セグメント業績予想

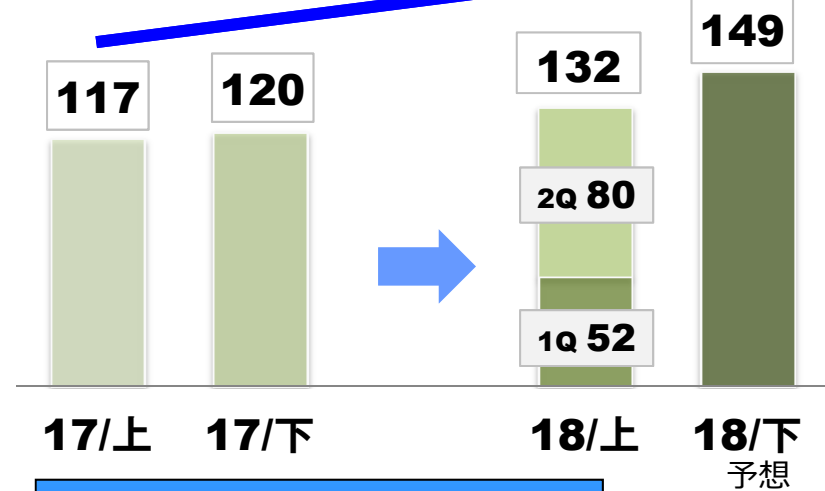
24

## 受注高 (実績・予想)

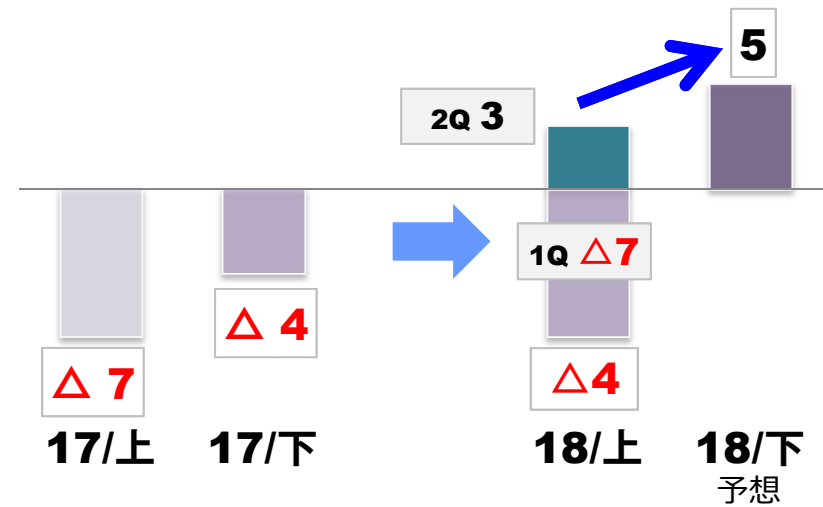


## 売上高 (実績・予想)

(単位: 億円)



## 営業利益 (実績・見込)





(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2018年度 (H30年度)	2017年度 (H29年度)	増減額	増減率
売上高	150	158	△ 8	△ 5.3%
営業利益	9	10	△ 1	△ 10.5%
利益率	6.0%	6.3%	△ 0.3%	

## 2018年度 業績要因分析



### ポジティブ・ファクター

- 産業用ロボットの中国生産能力増強による供給体制強化
- 国内向けサーボモーターの販売堅調
- IoT活用による商品ラインナップ拡充



### ネガティブ・ファクター

- 東アジアのスマートフォン・EMS向け需要が調整局面

## 配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、財務体質を強化しつつ、企業の継続的发展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

	第2四半期末	期 末	年 間	配当性向 (連結)
2017年3月期	6 円 00 銭	6 円 00 銭	12 円 00 銭	101.1%
2018年3月期	7 円 00 銭	7 円 00 銭	14 円 00 銭	33.7%
2019年3月期	7 円 50 銭	(予想) <sup>※1,2</sup> 37 円 50 銭	※2 —	45.3%

※1 平成30年10月1日に実施した株式併合の影響を考慮しております。

※2 株式併合考慮前に換算した期末配当(予想)は7円50銭、年間配当(予想)は15円00銭となります。

以 上

**本資料に記載している将来の当社業績に関する見通しは、現時点での把握可能な情報に基づいて作成したものです。**

**実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、これらの業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。**

**お問い合わせ先**

**東芝機械株式会社 総務部**

**T E L : 055-926-5141**

**F A X : 055-925-6501**

**URL : <http://www.toshiba-machine.co.jp>**